

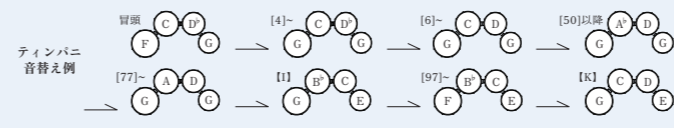


演奏へのアドバイス

Timpani

■ Timpani

強弱の記号は「音の強さ」を表す記号ですが、一緒に演奏している楽器の音色や表情を意識してアプローチの仕方を考えてみましょう。どの場面でもティンパニの存在感はとても大切です。「サウンドの要」として音楽を引き締める役割を目指しましょう。



Percussion 2

■ Bass Drum

バンドサウンドの支えとなる大切な役割です。ティンパニと一緒に演奏する場面ではサウンドバランスに注意してください。シンバルとの一体感も意識したいですね。打面と裏面の張り具合のバランスを調整する「チューニング」が音づくりの第1歩です。楽器のサイズにもよりますが、チューニングが低くなりすぎないように注意しましょう。ミュートに頼りすぎないことが大切です。

■ Tam-tam

大太鼓と同時に演奏する演奏技術を身につけなくてはなりません。セッティングの工夫も大切です。楽器の特徴を知るためにも、まずは楽器のどの部分を狙うとどんな音色がするのか試してみましょう。深い響きを得られるポイントを見つけてください。倍音が多い場合はミュートの工夫も必要になります。

■ Crash Cymbals

弱奏の表現が求められます。楽器の構え方、予備動作のタイミングやニュアンス、楽器の合わせ方など様々な要素によって音色が変化していきます。楽器の状態や個性があるので一概には言えませんが、「エッジ」をどのように使うかということがポイントになってくると思います。アタックの後にすぐに離してしまうと響きが薄く感じられるので、すこしこすり合わせるような感覚でのアプローチも試してみてください。

■ Triangle

静かきの表現が必要です。発音を丁寧に表現するために、軽く息を吹きかけるようにアプローチしてみてください。楽器の太さやサイズにもよりますが、ピーターは細すぎないものの方が良いと思います。候補が多数ある場合は太いものから順に試して、芯のある響きを得られるものを探しましょう。ロールの場面では「華やかな音色」で表現しましょう。

※本文中の [] 内の記号は練習番号、[]内の数字は小説番号を示しています。

楽器選びのアドバイス

	楽器名	アドバイス/楽器	弊社該当商品	アドバイス/マレット&ビーター	弊社該当商品
Temp	ティンパニ	各楽器の最低音のチューニングをしっかりと。	Majestic/Symphonic Series	ヘッドが小ぶりで軽量なもの。	K.M.K/KK-TMK11~15
	合わせシンバル	18インチ、ある程度の重さがあり、低音がしっかりと感じられるもの。	小出/CAD-18CCMH		
Perc 1	スネアドラム	粒立ちがクリアで深すぎないもの。	SONOR/SQ-1406SD-MHI Majestic/MJ-MOS1450BR	重すぎず弾みすぎないもの。	VATER/Piccolo, Piccolino K.M.K/KK-CSJ2
	サスペンドシンバル	18 or 17インチ。 余韻が広がりすぎないもの。	小出/CA-18CSM	ヘッドが小ぶりで軽すぎないもの。	Ron Vaughn/RVN-CymM4R Ron Vaughn/RVN-CymM5R
	トムトム	12インチと13 or 14インチ 音程差が感じられるもの。	Majestic/MJ-MCTP1210D+1412D Majestic/MJ-MCTC1210D+1412D	スティックの素材はヒッコリー。 マレットはティンパニのハード等。	VATER/5A Kk.M.K/KK-TMK01
Perc 2	バスドラム	まとまりのある低音がしっかりと出るもの。	Majestic/MJ-BD3622S	粒がしっかり出つつも低音が得られるもの。 ヘッドが大きすぎず軽量なもの。	K.M.K/KK-BMDY03 K.M.K/KK-BMDY-CWWM
	銅鑼	余韻が広がりすぎないもの。	K.M.K/KK-G36, KK-G32	アタックがきつくないもの。	Encore Mallets/EM-EKG1, K.M.K/KK-KGM1
Perc 3	合わせシンバル	18インチ、エッジを効果的に使えるもの。 音程としては少し高め。	小出/808-in18CCML		
	トライアングル	太さがあり倍音が多く感じられるもの。	K.M.K/KK-TCS813C, KK-TCS813N	自重があり太めのもの。	K.M.K/KK-TB720S, GV-SVTBSET
	シロフォン	乾いたサウンド感。 高さ調節が可能なもの。	Majestic/MJ-X6535H	ヘッドの素材(木、ゴム、プラスチック、綿、毛糸など)様々試してみましょう。	Acoustic Percussion/AN-HBX1~4 Encore Mallets/EM-92R
	グロッケン	高さ調節が可能なもの。	Majestic/MJ-B626S	ヘッドの素材(金属入り、金属無、金属、プラスチックなど)様々試して。	Acoustic Percussion/AN-AB1, AB2 K.M.K/KK-ML28, MP25, MGL28, MGP25
	サスペンドシンバル	18インチ、余韻の広がり効果が表現できるもの。	小出/10J-in18CSM	ソフトマレット=ハードではないもの。 アタックがクリアに出すぎない程度。	Ron Vaughn/RVN-CymM4R Ron Vaughn/RVN-CymM5R
	ウッドブロック	トムよりも高音の音程感が効果的なもの。	GV-WB7+WB9, RVN-W1+W3	粒がクリアに出る硬質なもの。	RVN-SBM1.5R, ST-RBMBH

多彩な打楽器をどう使うか。
工夫次第で表情が変わる、
音作りを楽しめる作品。

レッスン執筆
小川裕雅

エリザベト音楽大学准教授
広島大学教育学部客員准教授
広島ウインドオーケストラ打楽器奏者
西日本打楽器協会副理事長

課題曲IV

管楽器のためのフィナーレ

作曲：伊藤 康英（2026年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品）

楽曲について

新曲ならではの新鮮さに加えて「どこかで聞いたことがあったかな」と思うような音楽の存在感を感じる作品です。作曲家がなぜこの場面でこの楽器を必要としたのか、それはどのような音色でどのような演奏効果をもたらしたかったのか、イメージを膨らませることが大切です。

楽譜通り4人で演奏するには使用する楽器の数が多いため、セッティングの工夫が必要です。例えばクラッシュシンバルやサスペンデッドシンバルを奏者間で共有する場合の配置や「シロフォンとグロッケン」、「大太鼓と銅鑼」の配置など。マレットの選択は、先入観にとらわれず所有しているすべてのマレットを試して、楽器との相性を探ってみましょう。意外な組み合わせが魅力的な音色につながるかもしれません。音色は管楽器とのアンサンブルを想定することも大切です。実際に管楽器パートとアンサンブル練習をすることで音色の方向性が見えてくると思います。